

3月 もも組だより

3月になって、やっと暖かくなってきました。そしてもも組として過ごすのもあと少しとなりました。4月当初は、泣きじゃくっていたり、なかなか落ち着けなかつたりしていた子達も、自分のペースでたくましく成長してくれています。1年を振り返ると「あんな事があったな」と子ども達との思い出が昨日のこのように思い出されます。保護者の皆様のご協力があってこそ、この1年を無事過ごすことが出来ました。改めてありがとうございました。

梅山未来・河津萌花・深町菜子・財津絵梨奈

以上児の部屋にはもも組になかった玩具がたくさん！

たくさんのコーナーの中でもドレスサコーナーが女の子には人気で好きな色のドレスや白衣に自分で着替え楽しそうに遊んでいます♪



静のコーナーではパズルや指先を使って遊ぶ玩具、折り紙やハサミも好きな時に使うことが出来、各々自分で好きな遊びを見つけ遊んでいます。



友達との関わり

4月当初は、一人遊びが多かった子ども達ですが、月日が経つにつれ友達との関わりも増え気の合う友達と一緒に楽しく遊んでいます。その中で、自分の気持ちを友達に伝えようとする姿を見かけることが多くなりました。今は一方的に気持ちを伝えることが多いですが、相手に対する関心や親しみが増してくると、自分中心の主張をしながらも、少しずつ相手にわかるように伝えようとします。《親しみを持つ→相手に伝えようとする→伝わることで親しみを持つ》という循環の過程を経て、次第に相手の思っていることに気づくようになり、子どもたち同士の関わりが深まっていきます。今はその相手に伝えようとする段階で、自分の気持ちが上手く伝わらず喧嘩や「分かってもらえない」と葛藤を経験しています。自己主張のぶつかり合う場面が多くなるかもしれませんが、それも大事な成長過程の一つです。自己主張をぶつけ合いながら、相手の行動の意図に気づいたり、「自分だけが正しいわけじゃないんだ」「相手もつらいんだ」と感じたり、こうした経験が相手を尊重し、思いやる力に繋がっていきます。